

家族、コミュニティ、社会からの疎外——「しかし、日本には保護司がいます」

【特別寄稿：赤根智子（国際刑事裁判所所長）】

今福章二 編著

文化としての保護司制度

—立ち直りに寄り添う「利他」のこころ

ISBN978-4-623-09819-4 C0036 四六判美装カバー 244頁
定価1980円(本体1800円+税) 2024年10月刊



文化としての保護司制度
立ち直りに寄り添う「利他」のこころ

ミネルヴァ書房

保護司制度は130年以上の歴史を有し、犯罪者の立ち直りを助け、安全・安心な地域社会の実現を目指す更生保護制度の支柱として発展してきた。しかし、急激に変容する社会状況の影響を受ける中、これを未来につなげるために現状の見直しと変革の必要に迫られている。本書は、保護司制度について多角的・総合的に研究を進めている「保護司みらい研究所」における議論を紹介し、保護司の活動とその精神の本質に迫る。

- ◎「利他」の概念や心理支援、地域福祉、国際的な視点、そして保護司の実践の視点など、多角的な視点から「保護司」について考える。
- ◎保護司制度に関する論考を通じて、「誰一人取り残されることのない」地域共生社会の実現のためのヒントを得ることができる。

はじめに

序 論 保護司とは	押切久遠
特別寄稿 「国際更生保護ボランティアの日」宣言に寄せて	赤根智子
第I部 「利他」と寄り添い	
第1章 「利他」を紐解く	中島岳志
対談 「利他」から考える保護司	中島岳志・宮田祐良
随想 保護司のこころ	小林聖仁
第2章 こころのケアとは何か——寄り添いと世間知	東畑開人
対談 寄り添いと保護司活動	東畑開人・押切久遠
第3章 保護司制度の源流と意義を考える	山田憲児
第II部 応援のコミュニティを創る	
第4章 地域共生社会の実現にむけて	原田正樹
鼎談 保護司活動と地域づくり	原田正樹・今福章二・高橋有紀
コラム1 ポーラーベアーズからつながる更生支援ネットワーク	杉本啓二・早坂逸人・澤田弘志(北海道・旭川)
コラム2 保護司の目線——地域活動・保護司会活動を踏まえて	山元俊一(東京・豊島)
コラム3 更生保護サポートセンターを拠点とする活動の展開	佐川健・岡村幸子・伊藤伸一(東京・大田)
コラム4 更生保護フォローアップ事業から滋賀KANAMEプロジェクトへ	平田敦之(滋賀・彦根)
コラム5 第一回鳥取県保護司フォーラムと保護司みらい・街トークラボ	岩田文明(鳥取)
第5章 保護観察の国際動向と保護司制度	ローソン キャロル
対談 HOGOSHIを世界に発信する	ローソン キャロル・今福章二
「国際更生保護ボランティアの日」宣言	
おわりに	

《編著者紹介》

今福章二

(いまふく・しょうじ)

保護司みらい研究所代表、全国更生保護法人連盟理事長、日本BBS連盟会長、中央大学法科大学院客員教授、保護司。元法務省保護局長。京都大学法学部卒業。カナダ・サイモンフレーザー大学犯罪学部修士課程修了（修士（犯罪学））。1985年に東京保護観察所に採用され、法務省保護局、国連アジア極東犯罪防止研修所、那覇保護観察所等の勤務を経て、2019年1月法務省保護局長就任、2021年7月退職。

主著に『保護観察とは何か』(法律文化社、2016年)、『刑事司法と福祉』(ミネルヴァ書房、2023年)(いずれも共著)など。

*本チラシの情報は刊行時のものです



ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1 営業部 TEL 075-581-0296 FAX 075-581-0589 價格税込(10%)
Mail eigyo@minervashobo.co.jp https://www.minervashobo.co.jp/ 宅配可(手数料税込@880円)